

有限会社 農業法人清里ジャム

希少性の高い果実を使った新商品開発と商品ブランドへの取組み



プロジェクトデータ

補助事業名	平成 26 年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金
事業計画名	国産スモールフルーツを活用した新飲料等の商品開発と販路拡大事業
対象分類(取組分野)	革新的サービス
事業類型	(1)一般型 (2)試作開発+設備投資
認定支援機関	山梨中央銀行

ものづくり補助金活用による事業実施

有限会社農業法人清里ジャムは、カシス類などのスモールフルーツの栽培とジャム製品の製造に取り組んでいる。国内ではスモールフルーツの希少性が高く、その加工を手掛ける事業者も少ないことから、清里の農業や観光の振興につながるような特産品を生み出す機会ととらえ、商品化の検討を始めた。健康志向の高い消費者が増えていることから、超低糖度ジャムとフルーツコーディアル（希釈タイプのシロップ液）に着目したが、両商品の製造には容器に充填するミニ充填機と瓶の密封を行う半自動キャッパーという機械設備の導入が不可欠であった。

購入資金の負担軽減案として補助金を検討していた中、当時支援を受けていた公益財団法人やまなし産業支援機構から、ものづくり補助金を紹介され、同補助金を申請することとした。

計画の段階で、フルーツコーディアルの製造には、清涼飲料水製造業の取得が必要と判断し、取得に必要な製造機器として自動充てん機及び自動密封機等を施設に設けることとした。山梨県中北保健福祉事務所の指導を仰ぎ、平成 29 年 3 月、清涼飲料水製造業の取得に至った。なお、フルーツコーディアルは、飲料水に当たるか規定が無かったが、安全を最優先し、小規模施設では取得が難しい清涼飲料水製造業の取得にチャレンジした。

補助金活用後の事業化への取組み

補助金の活用によりスモールフルーツを使用し、フルーツコーディアルと超低糖度ジャムの 2 商品を開発した。ジャム類の規格では糖度 40 度以上 55 度未満が低糖度と区分されていたが、当社はペクチン不使用で極めて砂糖の使用を抑えた糖度 37 度の超低糖度ジャムの開発に成功した。

販路開拓では、平成 31 年には、一般社団法人山梨県食品衛生協会の指導を仰ぎ、山梨県による HACCP 認証である危害分析・重要管理点方式を用いた衛生管理システムを先駆けて導入し、海外輸出に求められる要求水準も満たした。農林水産省が 6 次産業化促進として実施する「全国キャラバン!食の発掘商談会」にも出展し、商品 PR や販路拡大に向けた取組みも行った。

さらに開発した新商品のブランディングを目的に商標登録を目指した。商標登録は、特許庁のホームページ等で研究し、自力で「フルーツコーディアル」の商標登録を行った。商標早期審査ができなかったことから、山梨県地域事務局の紹介で公益財団法人やまなし産業支援機構の知的財産総合窓口事業の支援を受けて、別ブランドの「甲州ジャム」を商標登録した。

事業拡大の取組みが進む一方、雇用についてはスモールフルーツの収穫期と製造のピーク、夏休みの繁忙期の3つが重なり、慢性的な人手不足を抱えていた。

取組成果と今後の戦略・展望

日本全国の優れた産品を発掘・表彰する「フード・アクション・ニッポンアワード 2018」入賞を果たし、全国の創意工夫に富み、地域農業の振興に寄与した優れた農産加工品を表彰するアワード「第 15 回日本農業新聞一村逸品大賞」において、開発商品の超低糖度ジャムが金賞を受賞し、対外的な商品の評価を得られた。商談会等でバイヤーからの注目度も高く、超低糖度ジャムは富士北麓の高級リゾートホテル等で朝食用ジャムとして採用され、フルーツコーディアルは、都内のハイクラスホテルの飲料として使用されている。また、大手デパートや女性向け有名通販サイトに掲載され、好調な売上を獲得している。OEM 製品の製造などの継続的な取引も獲得できており、補助金実施前と比較すると売上は向上し、一定の利益も確保している。

今後は確立されたブランドを保護する観点から商品の商標登録を進め、地域の活性化に繋がるような商品開発にも取り組むなど、より一層の商品力の強化を目指していく。また、繁忙期の人手不足と閑散期に余剰人員を抱えてしまう課題の解消を目的に、通年で製造できる商品を開発し、雇用の安定と地域雇用の創出に努めていきたい。特にスモールフルーツのコーディアルとジャムは、冷凍からでも品質が変わらないことから、繁忙期の仕事の分散化と閑散期の仕事の創出を目指していく。

事業を通じて得た気づき・感想

本事業は耕作放棄地を再生し、圃場に 1 株の苗木を定植することから始まる長い物語のゴールに達成できた成果であり、地域事務局を始め、関東農政局や山梨県、北杜市等の担当者様の心のこもった支援がなければなし得ない事業であった。

ものづくり補助金の活用により、製造業の取得ができ、特色ある逸品が開発できた。また、商品の安全性の向上や製造時間の短縮・製造工程の合理化等の効果もあった。結果的には商品のラインナップも豊富になり、その他売上の獲得にもつながった。

清里ジャムの企業ステートメントは、「幸せをピンにつめて」。お客様とお取引先様、スタッフ、ご支援頂いた全ての方々幸せを願って、これからも「幸せのものづくり」を目標に消費者に喜んで頂ける商品作りに邁進していきたい。



清里ジャムのスタッフのみなさん



開発した商品ラインナップ

本事業の特徴・ポイント

- Point①** 希少性の高いスモールフルーツを使った商品開発
- Point②** 商標登録や各種認証の取得によるブランドの確立
- Point③** 知名度向上を目的とした食品コンクールへの出展や雑誌など各種メディアの活用

会社概要

代表者 代表取締役社長 佐野間 芳樹

所在地 〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545-264 とともにこの森

電話番号 0551-48-3369

URL <https://kiyosatojam.com/>

E-mail info-kj@kiyosatojam.com

設立 平成 15 年 4 月 1 日

資本金 300 万円

従業員数 7 名

主たる業種 野菜・果実缶詰・保存食料品製造業

主たる事業内容(主力品目) スモールフルーツジャムの製造、フルーツコーディアル、超低糖度ジャム